

2015 年 YWS camp (Young Women Scientist Camp 「若手女性科学者のためのキャンプ」)
参加報告

東京工業大学 大学院理工学研究科 材料工学専攻
博士課程 2 年 三原 麻未

皆さまこんにちは。JWEF 学生会員の三原と申します。

私は今年の 10 月に韓国で開催された YWS camp (Young Women Scientist Camp)に参加させていただきました。ここではその体験をご報告したいと思います。YWS camp は韓国の女性科学者・技術者の会である KWSE (the association of Korea Women Scientists and Engineers)がホストとなり毎年韓国で行われています。アジア諸国から女性科学者が集まり交流を深めることが目的です。今年は Daejeon にて Smart Sister Workshop というプログラムと同時に開催されました。このプログラムは、KWSE が韓国に在住している女性科学者に対して、グローバルネットワークを広げたり、女性同士の交流を深めたりする機会を設けているものです。非常に盛り沢山の内容でしたので、詳しくレポートしたいと思います。



Welcome dinner での集合写真

*10 月 16 日 (金)

夕方にインチョン空港に着き、バスで 3 時間弱かけてテジョンへ移動しました。バスを降りてからホテルまで迷いましたが、タクシー運転手は英語が通じず邪険に扱われ、ホテルにたどり着くのに一苦労しました。韓国語を勉強してあげれば良かったと思いました。

*10月17日(土)

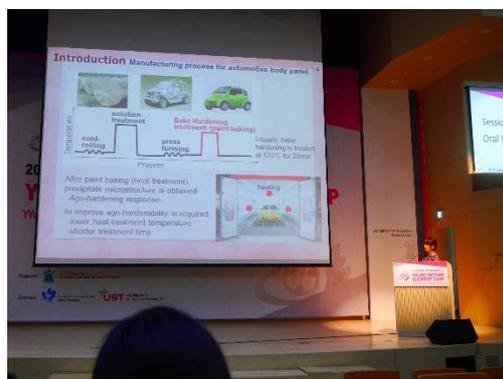
YWS camp 一日目です。ホテルからバスで UST(University of Science and Technology)まで移動しました。会場にはそれぞれの国の展示ブースが用意されており、参加者は自分の国のブースに持参したものを展示しました。皆、母国をアピールするために工夫を凝らしていました。昼食を取ったのち、Opening speech から会議が始まり、YWS camp の概要や Smart Sister Program が紹介され、そして参加者によるオーラル発表およびポスター発表が行われました。私はオーラル発表を行いました。時間の都合上、選抜された5人のみの発表でした。ポスター発表は53件ほどでした。

夜は Welcome Dinner が開かれ、各国の衣装を身にまとった参加者が順番に挨拶をして、それぞれ気に入ったものに投票する、というファッションショーが行われました。日本からの参加者は二人でしたが浴衣を着てアピールしました。途中、アコースティックギターと韓国の伝統楽器 Haegeum のコラボレーションによる演奏もありました。あまりの音色の美しさに、皆うっとりとして聴き入っていました。

この日の夜はホテルではなく、Gongju Hanok Village という韓国の伝統家屋に宿泊できる施設へ移動し、6名で一部屋に泊まりました。私の部屋は日本人二人、マレーシア人二人、そしてパキスタン人二人でした。それぞれの国の話をしたり、お菓子を食べて夜遅くまで話したりして、打ち解けることが出来ました。



日本の展示ブースの様子



オーラル発表をしている様子



Welcome dinner での様子

*10月18日（日）

YWS camp 二日目です。この日はまず各国の女性科学者の団体から活動報告がありました。どの国の発表もとても充実していて、女性の力強いパワーを感じました。昼食を取った後はなんと、K-pop のダンスのレクチャーがありました！プロの方を講師として招き、皆で汗を流しながら「Mr.Chu」の曲に合わせて踊りました。振り付けは今でも体に染みついてます。とても良いアイスブレイクとなりました。

休憩をはさんだ後、YWS Model World Science Summit と題して、各国から一人が代表として選抜され、女性科学者の実情について議論するサミットが開催されました。私は日本代表として参加しました。「日本の女性科学者は非常に少ないが、”同じ能力ならば男性より女性を優先して採用する”というポストを作ることで女性が物おじせずに応募出来るようになってきている」といった内容をお話しさせていただきました。このようなサミットは初めての経験で緊張しましたが、活発な議論が飛び交い、とても有意義な時間を過ごせました。

サミットが終わると今度はグループトークとメンタリングの時間です。各テーブルに一人のメンターがつき、三つのトピックから一つを選んで各テーブルで意見をまとめ、ショートプレゼンテーションを行いました。私のテーブルでは「Successful future of women」というテーマで、どんな将来が女性（自分）にとって成功と言えるのか、意見を出し合いました。仕事で成功し、旦那と家族（両親）のサポートを受けながら仕事と家庭を両立し、社会からも支援を受け...と理想は尽きませんが、メンターの指導の元、意見をまとめることが出来ました。

夜は Farewell Dinner が開かれ、Best friend 賞、Best Dresser 賞、Best Information Booth 賞、Poster Session Winner 賞が用意されていました。Best Dresser 賞はモンゴルの皆さんでした。日本でなかったことが唯一悔やまれる点です。またこのような機会があればもっと日本をアピールできるように着飾りたいと思いました。



グループトークの発表



皆で K-pop を踊る様子

*10月19日（月）

朝早くバスで Village を出発し、希望者のみ OECD ministerial meeting に参加しました。空港へ移動するため Opening の少しの間しか滞在できませんでしたが、World Science & Technology Forum の雰囲気を感じることが出来ました。

余談ですが、KWSE からの数々のプレゼントに感動したのでここで述べさせていただきます。まず受付で KWSE のロゴ入りの赤いパーカーが配られました。とても可愛いです。また、ポスター賞等の各賞ごとにプレゼントが用意されていただけでなく、参加者全員にロゴ入りエクササイズ用ロープと立派な参加証明証が配られました。女性が開催するだけあって、ほかにも様々な所で女性らしい心遣いを感じました。

今回集まった女性たちは国籍や言語、習慣が異なる様々な国に住んでいますが、国境を越えて女性が抱える問題について意見を出し合ったり、研究について議論し合ったりすることで、お互いに刺激を受けられたと思います。また、メンタリングによって不安や日頃悩んでいることを打ち明けることができ、とても素晴らしいロールモデルにも出会うことができる、素晴らしい活動だと感じました。このような貴重な機会を与えてくださった KWSE そして JNWES の皆さまに心から感謝申し上げます。



UST の外での集合写真